

2022年12月期（2022年度）上半期 決算説明会

内容

- ◆ 上半期連結業績概況
- ◆ 上半期各セグメントの概況
- ◆ 下半期の施策
- ◆ ESGトピックス

- (ご参考) BS概況・PL概況
事業別・地域別セグメント業績
主な製品・用途

決算説明会 開催日：2022年8月19日

決算説明会資料 公開日：2022年8月17日

本資料中の計画、予想は2022年8月17日現在の認識・前提にたっており、これからの国際情勢、経済状況、事業環境に著しい変化があった場合には、実際の業績が記載と大きく異なる可能性があります。また、表記の金額は億円未満について四捨五入しております。

2022年度上半期 連結業績

(単位：億円)

科目	21年度上半期 実績	22年度上半期 実績	増減率(%)	通期計画 (期初)	通期計画 (修正後)
売上高	1,394	1,548	11.1	2,950	3,100
営業利益	72	46	▲36.2	145	130
経常利益	87	67	▲22.3	150	140
親会社株主に帰属する 当期純利益	63	84	33.1	100	125
営業利益率	5.2%	3.0%	▲2.2points	4.9%	4.2%
海外売上高比率	49.3%	52.5%	3.2points		

計画の前提となる指標と実績

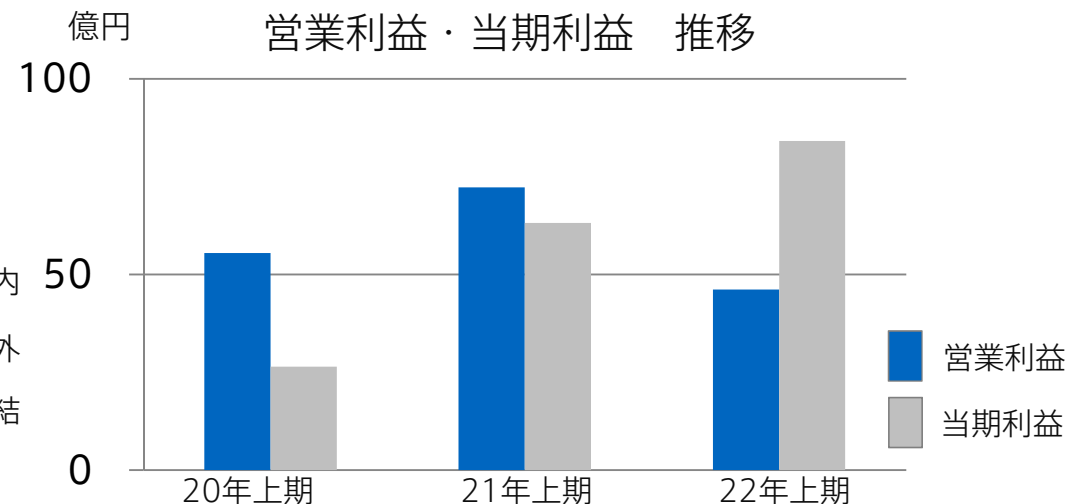
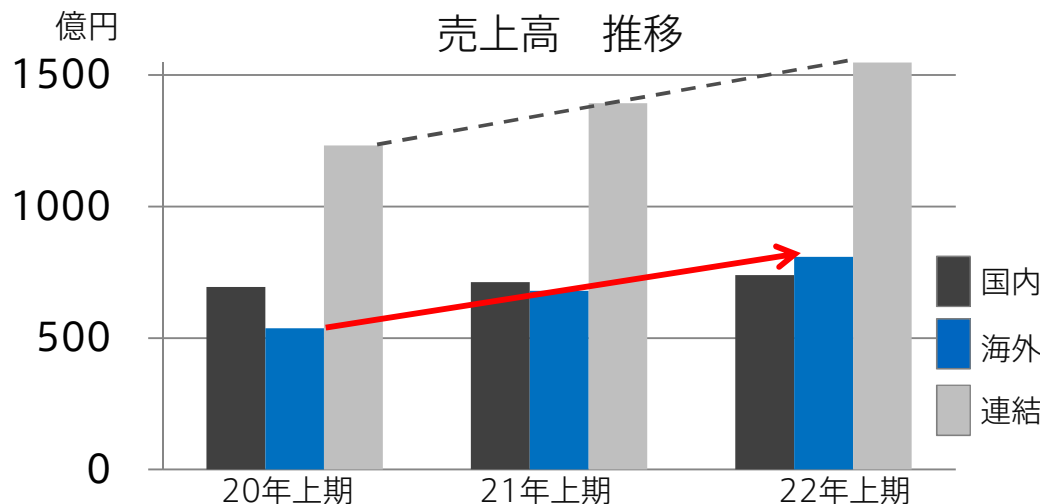
		22年度 前提	22年度 上半期平均	前年同期
為替	1 USD	¥115.0	¥124.5	¥108.5
	1 EUR	¥130.0	¥135.2	¥130.5
	1 RMB	¥18.0	¥19.1	¥16.8

		22年度 通期前提	22年度 上半期平均	前年同期
原料	ナフサ(/KL)	¥60,000	¥75,350	¥43,250

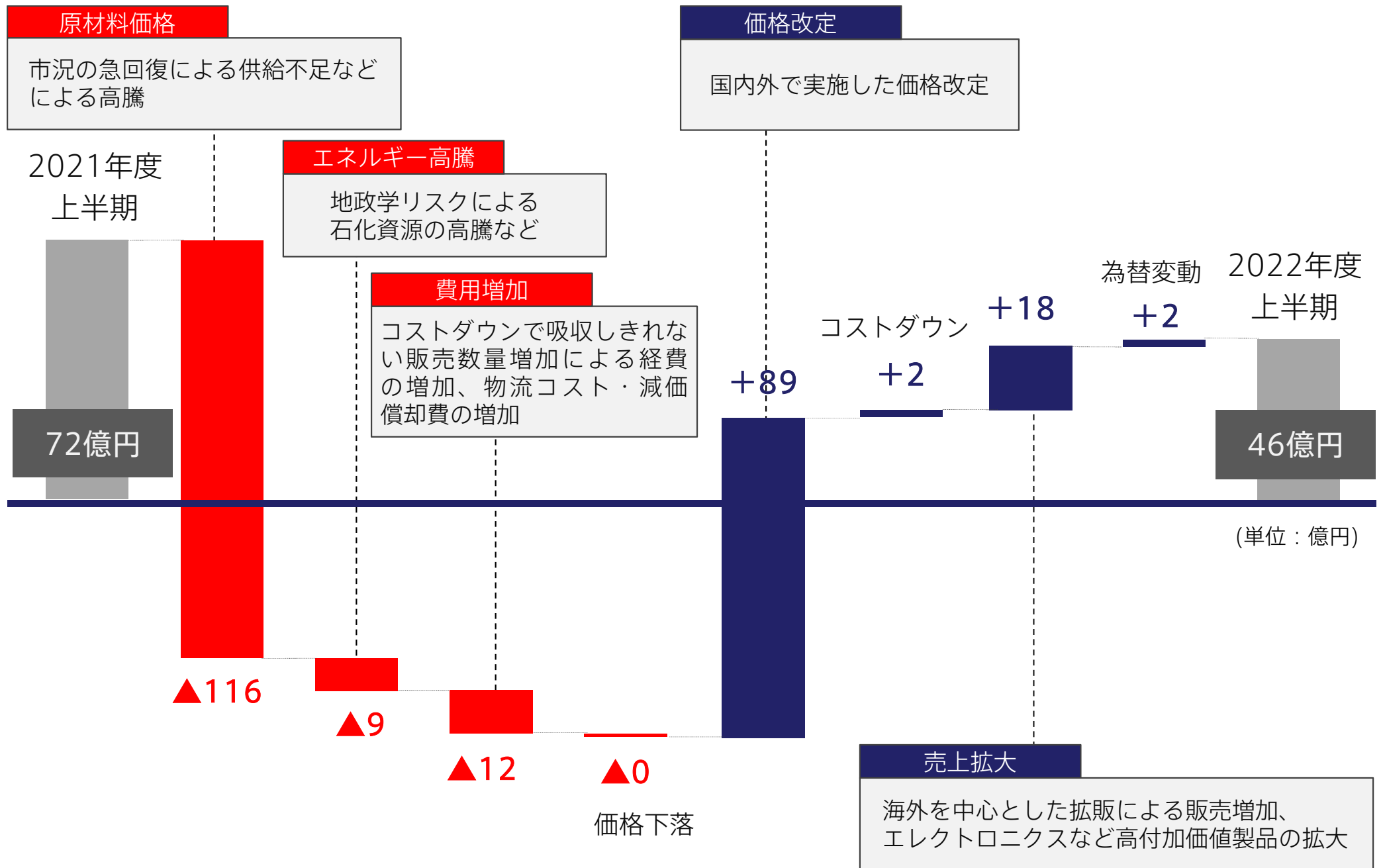
2022年度上半期 連結業績概況

■ 増収減益：売上は伸長、営業利益は原材料高騰で低調

- 売上：主要セグメントで増収、特に海外を中心に伸長
 - リキッドインキ、粘着剤・接着剤などパッケージ関連材料が伸長
- 営業利益：原材料価格の急激な高騰の影響で減益
- 当期純利益：前年を上回る利益
 - サカタインクス（株）との資本提携解消による特別利益を計上



2022年度上半期 営業利益の増減要因分析



2022年度上半期 原材料価格の動向と価格改定

原材料価格高騰の背景と見通し

➤ 22年度下半期も原材料価格は厳しい状況が続く見通し

- 経済活動の回復で各種原材料が需要増加
- ウクライナ情勢等によりエネルギー価格高騰および原材料の供給不足
- コロナ禍・地政学リスクによる物流の乱れで輸送費が高騰
- 為替（円安）による輸入原料の価格上昇
- 世界的な環境規制強化の継続による対策コスト増大

営業利益への影響（22年度上半期 対前年）

原材料価格・エネルギー高騰の影響		価格改定の実績	
▲125億円		89億円	
<ul style="list-style-type: none"> ■ ナフサ由来原料 ■ 有機溶剤 ■ 樹脂・樹脂原料 ■ 顔料・顔料原料 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 酸化チタン ■ 容器（ドラム缶） 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 粘着剤 ■ ラミネート接着剤 ■ 塗料・樹脂 ■ UVインキ ■ グラビアインキ 	<ul style="list-style-type: none"> ■ フレキシインキ ■ オフセットインキ ■ スクリーンインキ ■ 顔料 ■ 着色剤
ほか		ほか	

購買政策 製品の供給責任を優先した上で、SCM改善、原材料見直しを実施

2022年度上半期 事業セグメント別実績概況

- 全社共通：原材料とエネルギー高騰の影響により減益
- **色材・機能材**：インクジェットとLiB用は伸長も、メディア材料と着色剤は伸び悩む
- **ポリマー・塗加工**：機能性フィルムなどエレクトロニクス用を中心に全般的に売上伸長
- **パッケージ**：海外が伸長、国内は環境調和型製品の採用が進み堅調
- **印刷・情報**：商業印刷用は低調も、国内外でパッケージ向け機能性インキ※が伸長

	21年度上半期 実績		22年度上半期 実績		増減率(%)		2022年度計画 (修正後)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・機能材	368	27	394	15	7.0	▲ 44.9	800	49
ポリマー・塗加工	336	20	381	15	13.5	▲ 24.7	780	43
パッケージ	354	13	400	5	12.9	▲ 63.0	800	21
印刷・情報	326	9	363	6	11.3	▲ 31.5	700	14
その他・調整	9	4	9	6	-	-	20	3
連結	1,394	72	1,548	46	11.1	▲ 36.2	3,100	130

(単位：億円)

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

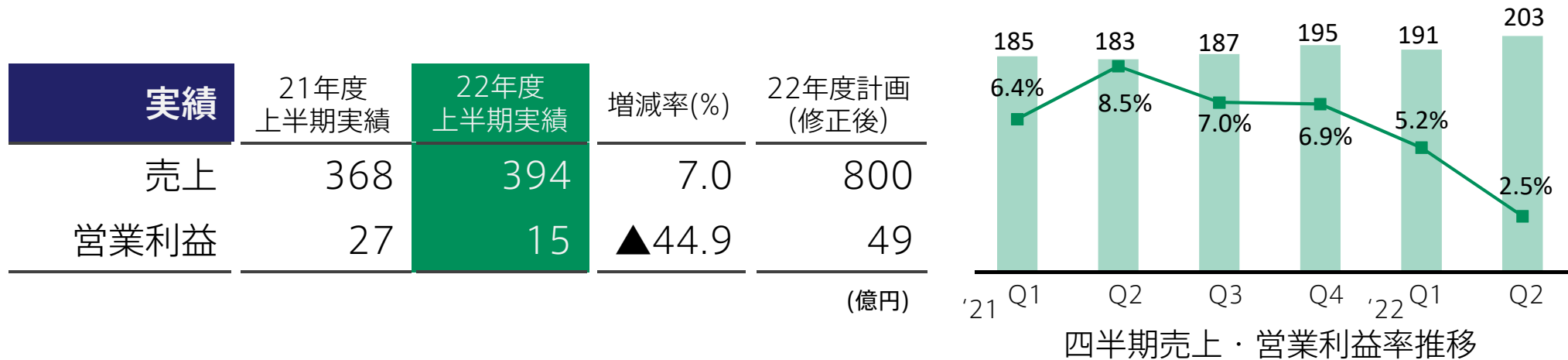
2022年12月期 上半期 決算説明会

2022年度上半期 各セグメントの概況（色材・機能材）

22年度重点施策

成長市場において収益の柱の確立を加速

- **売上** インクジェットとLiB用が伸長するも、メディア材料と着色剤は伸び悩む
- **営業利益** 原材料高騰に対して価格改定を進めたものの及ばず減益



	売上増減	概況
メディア材料	+8%	中国・台湾のレジスト・ペースト拡販進むも、上期後半から需要低迷
着色剤	+5%	国内は容器・建材用が堅調 海外は太陽電池用は堅調も、OA機器・自動車用途が低迷
顔料	+6%	パッケージ用は伸長も、オフセット用顔料の需要が減少
インクジェット	+18%	商業印刷用・サイン用が好調、海外も中国・欧州を中心に堅調
機能性分散体	+185%	LiB用分散体は4極生産体制（欧米中日）構築が進捗

2022年度上半期 各セグメントの概況（ポリマー・塗加工）

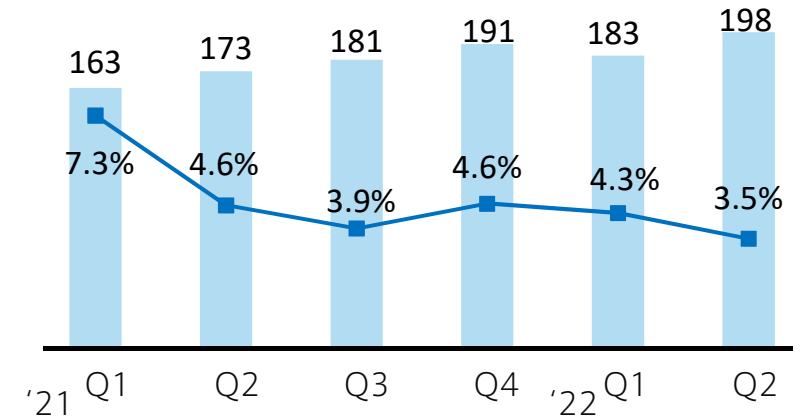
22年度重点施策

グローバルNO.1 製品群の拡充と収益構造の変革

- **売上** 機能性フィルムなどエレクトロニクス用を中心に全般的に伸長
- **営業利益** 5G用など高付加価値品は伸長も、パッケージ・工業材用が原材料高騰で減益

実績	21年度 上半期実績	22年度 上半期実績	増減率(%)	22年度計画 (修正後)
	売上	336		
営業利益	20	15	▲24.7	43

(億円)



四半期売上・営業利益率推移

	売上増減	概況
パッケージ・工業材料	+13%	食品包装やラベル用の粘着剤・接着剤は堅調も、原材料高騰の影響大
エレクトロニクス	+14%	機能性フィルムや韓国のパネル向け粘着剤が伸長
メディカル・ヘルスケア	+13%	貼付薬が伸長したものの、中国のヘルスケア用粘着剤は上海ロックダウン影響で伸び悩む

2022年度上半期 各セグメントの概況（パッケージ）

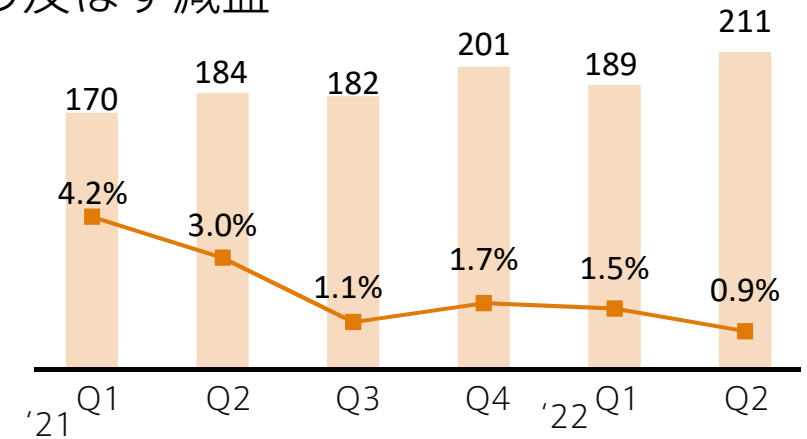
22年度重点施策

環境対応をリード、海外各エリア市場の成長投資を加速

- **売上** 食品包装用は海外需要が安定的に伸長、国内は環境調和型製品の採用進み増収
- **営業利益** 原材料高騰に対して価格改定を進めたものの及ばず減益

実績	21年度 上半期実績	22年度 上半期実績	増減率(%)	22年度計画 (修正後)
売上	354	400	12.9	800
営業利益	13	5	▲63.0	21

(億円)



四半期売上・営業利益率推移

売上増減

概況

国内リキッド
インキ

+8%

食品軟包装用や詰め替えパウチ用などが堅調、バイオマスインキなど環境調和型製品が伸長

海外リキッド
インキ

+21%

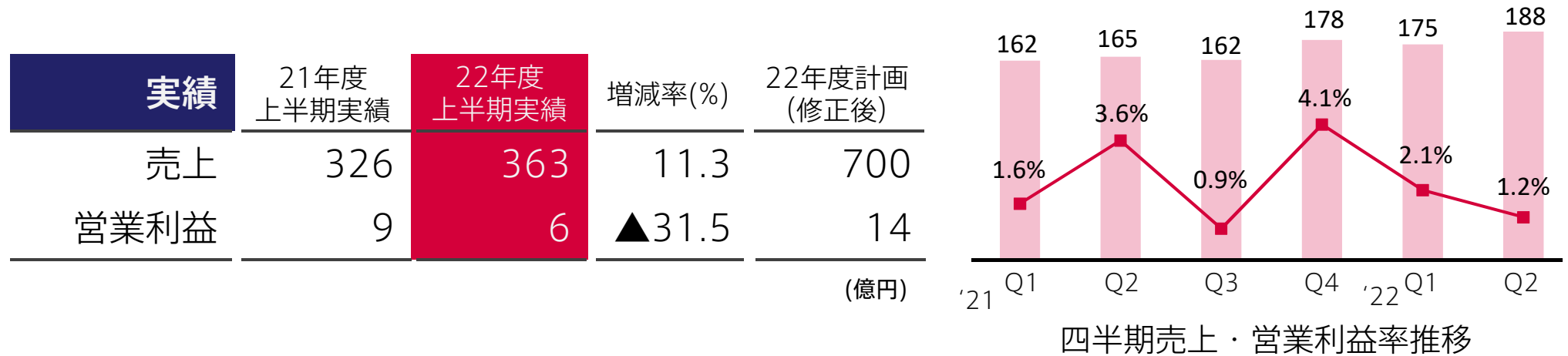
インド・韓国・台湾で軟包装用水性インキなど環境調和型製品が伸長、設備投資が寄与し東南アジア・インドでミドルグレード品の拡販進んだものの、原材料高騰の影響大

2022年度上半期 各セグメントの概況（印刷・情報）

22年度重点施策

市場環境に適合した収益事業へ改革推進

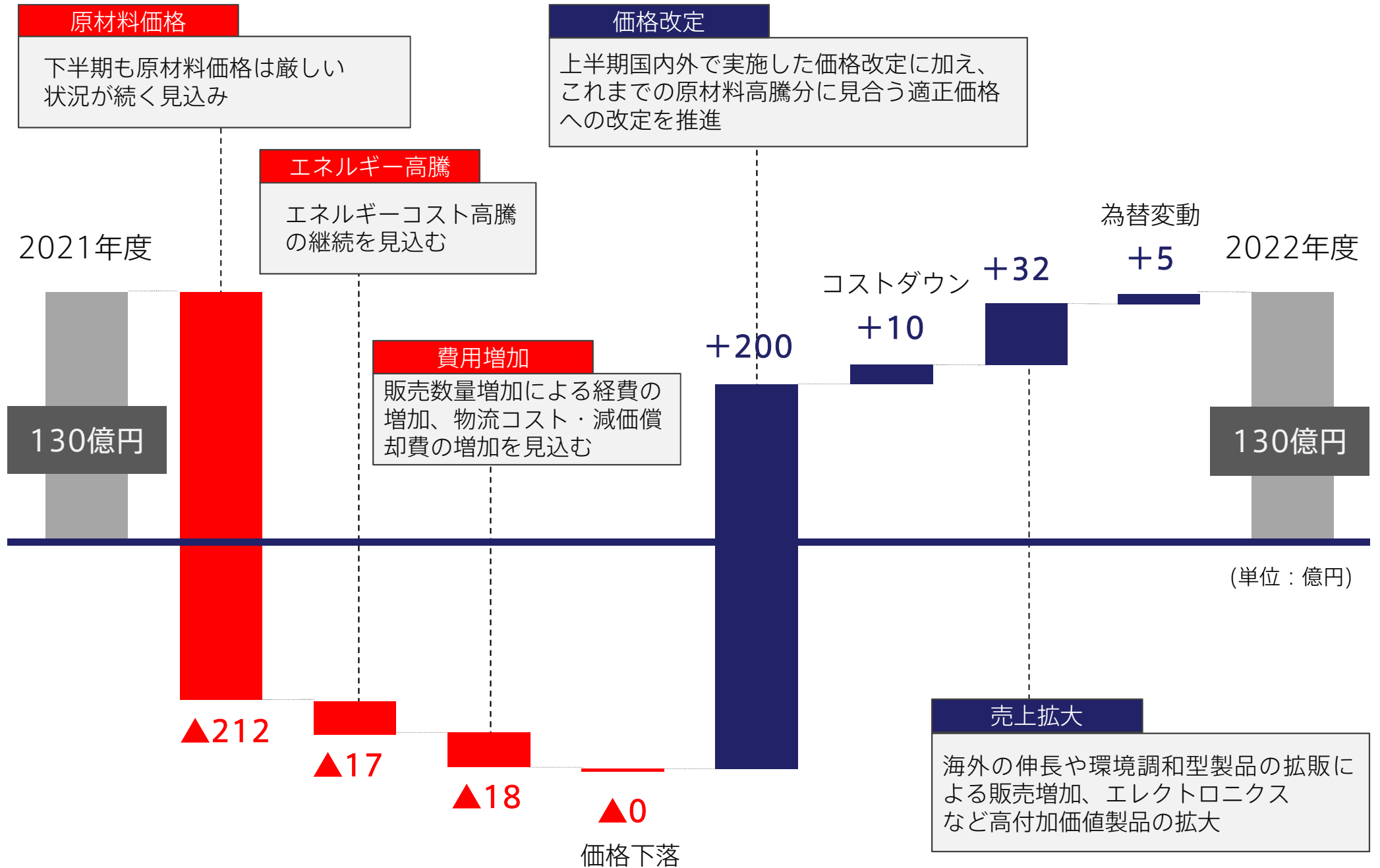
- **売上** パッケージ向け機能性インキが海外中心に拡販進み増収
- **営業利益** 構造改革と価格改定を進めたものの、原材料高騰の影響に及ばず減益



	売上増減	概況
オフセット インキ (一般インキ)	+13%	長期的な商業印刷市場縮小が継続も海外は回復、国内販社・分社の統合など構造改革によるコストダウン・人的リソースシフトを推進
機能性インキ※	+13%	パッケージ向けバイオマスUVインキなど環境調和型製品が伸長、金属インキは海外市場開拓、スクリーンインキは用途開拓を推進

※機能性インキ：UVインキ、金属インキ、スクリーンインキ

2022年度通期 営業利益の増減要因見通し

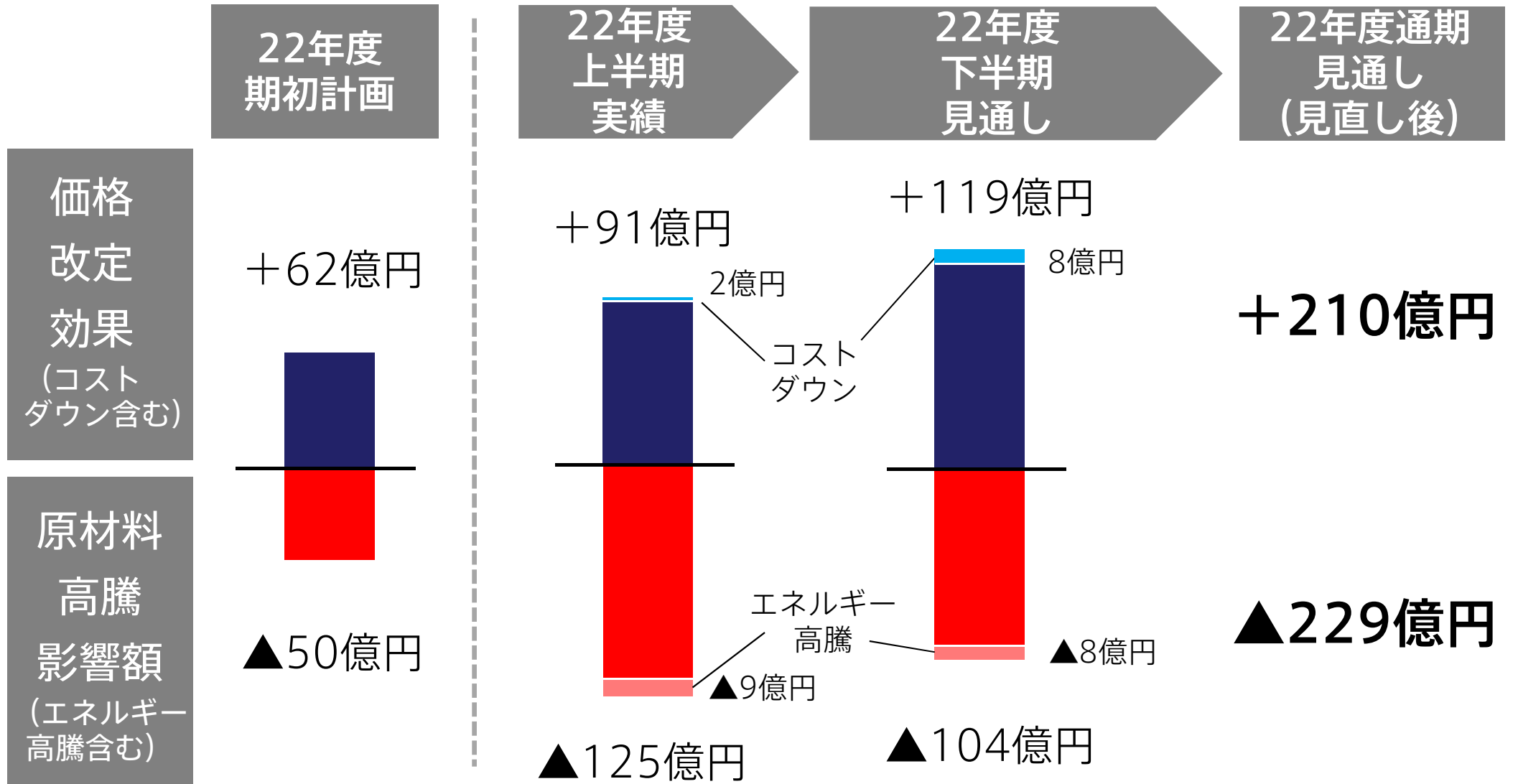


2022年度下半期施策 原材料高騰への対策

原材料高騰は全セグメントで影響甚大

価格改定、コストダウン
を推進

営業利益への影響 (対前年)



2022年度下半期 各セグメントの施策（色材・機能材）

22年度重点施策

成長市場において収益の柱の確立を加速

短期施策

（下期目標） 13億円 （原材料高騰影響：下期▲16億円・通期▲34億円）

価格改定を推進

- 顔料：3次改定、新たにサーチャージ制導入（22年7月）
- プラスチック着色剤：追加価格改定を推進
- インクジェットインキ：価格改定を推進

重点施策

デジタル

メディア材料

中国・台湾におけるシェアの拡大

- 現地パートナーを活用し営業体制を強化
- 顧客における量産テストを推進
- ペーストでの新規顧客を獲得
- 低温硬化など環境負荷低減品を展開

環境・リサイクル

プラスチック着色剤

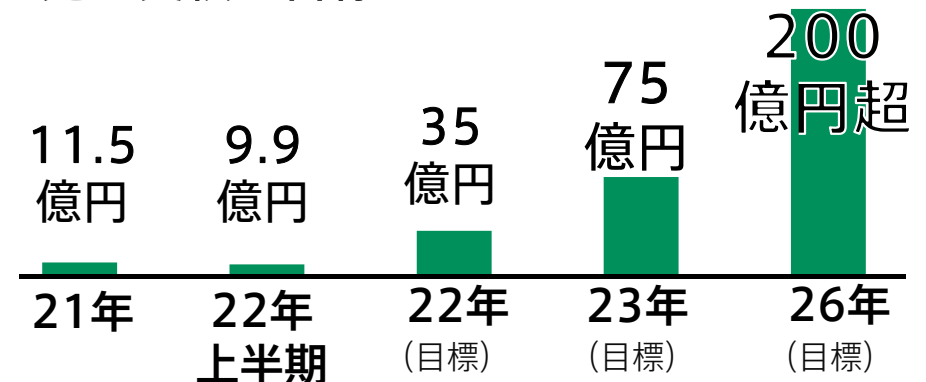
- 太陽電池向けを中国・インドで拡大
- 生分解、リサイクル対応品を展開

EV市場

LiB用CNT分散体

ハンガリーが本格稼働、
4地域・4生産拠点で営業・開発活動を強化

売上実績・目標



2022年12月期 上半期 決算説明会

2022年度下半期 各セグメントの施策（ポリマー・塗加工）

22年度重点施策

グローバルNO.1 製品群の拡充と収益構造の変革

短期施策

（下期目標） 33億円 （原材料高騰影響：下期▲31億円・通期▲72億円）

価格改定を推進

- 粘着剤：4次改定（22年6月）
 - ラミネート接着剤：3次改定（22年6月）
 - 塗料、樹脂、ホットメルト等：追加改定を推進
- ▶ 第3四半期中の妥結を目指す
- ✓ 品目ごとに原材料・費用をリアルタイムに把握し、適宜、価格改定に反映

重点施策

売上拡大→高付加価値シフト

■機能性製品や環境調和型製品に資源集中、短期集中的に開発テーマを実績化

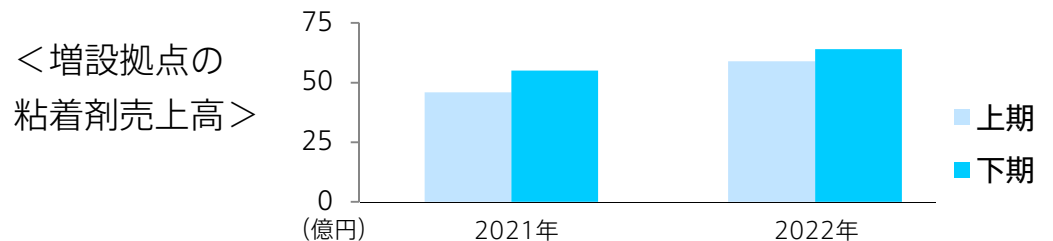
- 中国向け機能性フィルム
- Foldableデバイス用塗工材料・HC剤
- 光学用ウレタン粘着剤
- 紙用耐油コーティング剤
- 機能性製缶塗料 など

■グローバルNO.1 製品群の開発

Beyond-5G用機能性フィルム、半導体関連部材、構造用接着剤 など

グローバル拡張

■中国、インド、米国、韓国の増設生産設備の稼働率向上による投資回収早期化



■次期拡張計画の策定

SIC-II 増強済の海外生産設備はフルキャパの見通し
▶ SIC-IIIの設備投資・アライアンスを検討
（重点エリア：インド、米国、中国）

2022年12月期 上半期 決算説明会

2022年度下半期 各セグメントの施策（パッケージ）

22年度重点施策

環境対応をリード、海外各エリア市場の成長投資を加速

短期施策

（下期目標） 39億円 （原材料高騰影響：下期▲26億円・通期▲58億円）

価格改定を推進

- 国内：3次価格改定を推進中
1次（21年5月）⇒ 2次（21年12月）⇒ 3次（22年6月）
- 海外：コスト増を反映した価格改定を着実に進める

重点施策

環境調和型製品

CO2削減やプラスチック削減に貢献する製品の開発・拡販を推進

- 水性インキ、バイオマス
- 紙パッケージ対応

100%バイオマス由来
生分解樹脂のヒートシール剤
（味の素（株）に採用）



海外展開を加速

設備投資と新製品開発を加速

- 中国（江門）新工場、インド増設ラインが稼働
- 東南アジア、インドで環境対応の新開発品、ハイエンド品、ミドルグレード品を積極展開

現地で樹脂合成可能な強みを活かし
顧客ニーズにスピーディーに対応

- トルコ新工場から欧米市場へ展開

2022年度下半期 各セグメントの施策（印刷・情報）

22年度重点施策

市場環境に適合した収益事業へ改革推進

短期施策

（下期目標） 26億円 （原材料高騰影響：下期▲23億円・通期▲48億円）

価格改定を推進

- 国内：2次価格改定を推進中
1次（21年8月）⇒ 2次（22年2月）
- 海外：コスト増を反映した価格改定を着実に進める

重点施策

■ 構造改革：分社・販社計6社統合（23年1月～）

■ 環境調和型製品の伸長加速

パッケージ向け機能性インキを拡大

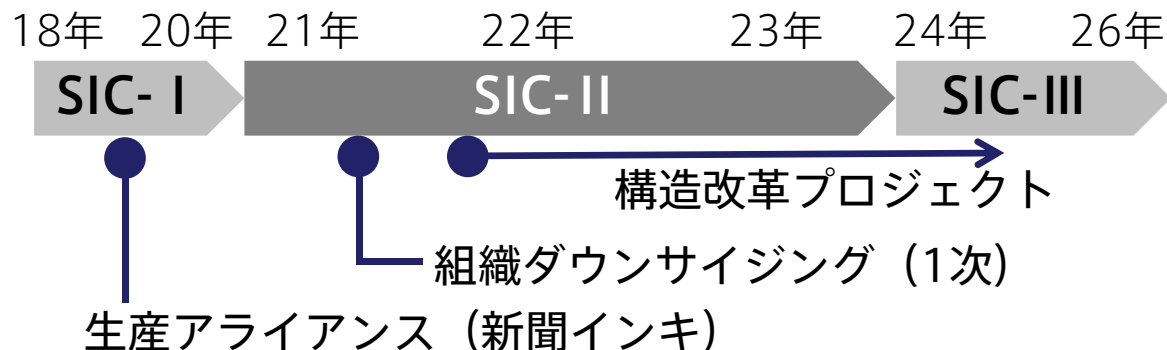
UVインキ

- 環境調和型製品へのシフト
独自樹脂によるバイオマス化
LED-UV対応製品による省エネ
- 日本、欧州のパッケージ市場での
拡販を推進

金属インキ

- 国内シェアNO.1の実績を活かし、
海外展開を加速

- ✓ 統合・集約により販売体制を最適化
- ✓ 成長分野へ人的リソースをシフト



E

■ サステナビリティ経営を推進

- 2050年カーボンニュートラル達成、2030年SDGs達成への貢献を目的としたサステナビリティビジョン「TSV2050/2030」を策定

1 CO2排出量 2030年までに
35%削減

2 サステナビリティ
貢献製品売上高比率 2030年までに
80%以上

- TCFDへの賛同を表明（2020年11月）
リスク/機会の特定と情報開示を進める

2022年7月
統合レポートに開示

- 1.5℃シナリオと4℃シナリオを参照して分析を実施
- 炭素税による影響額を算出

S

■ 挑戦する風土を醸成

ビジネスアイデアコンテストを継続開催

■ ダイバーシティを推進

事実婚および同性パートナーシップ制度導入

ALLY(アライ)の輪を広げる活動

女性活躍の推進

■ ガバナンス体制を強化

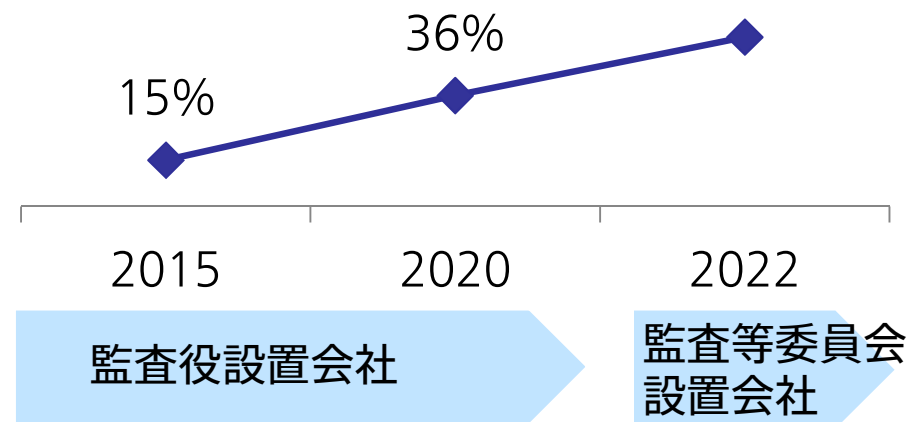
監査等委員会設置会社への移行
社外取締役比率の向上

- 取締役会の監督機能を強化
- 意思決定と業務執行の迅速化
- 体制のスリム化

取締役・監査役総員



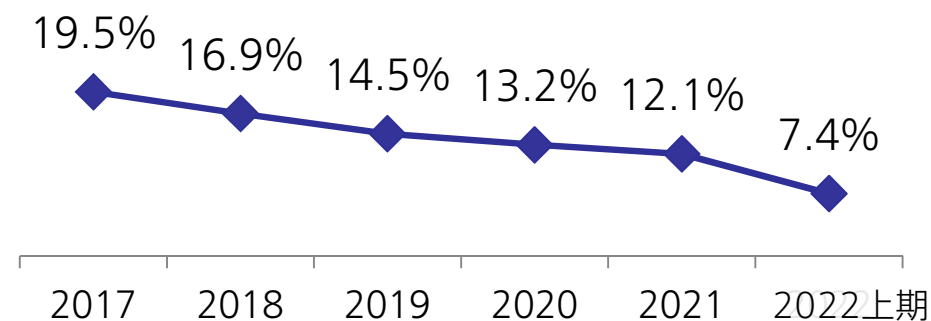
社外取締役比率



■ 政策保有株式の削減

政策保有株式の適正化を継続
資本効率化を進める

政策保有株式保有額の純資産比率



■ IRに関するご質問・お問い合わせ先

ir@toyoincgroup.com

■ ウェブサイト

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/index.html>

■ 主要ニュースリリース

- 東洋インキグループ 統合レポートを公開
(英語版は9月公開予定)

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22072701.html>

- 深圳にエレクトロニクス関連製品の技術センターを開設

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22071401.html>

- 100%バイオマス由来の生分解性樹脂を使用したヒートシール剤が環境配慮型の紙製包装材に採用

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22050601.html>

- ブルーライトが有機ELディスプレイの劣化を促進することを実証

<https://sched.toyoinkgroup.com/ja/news/2022/22072801.html>



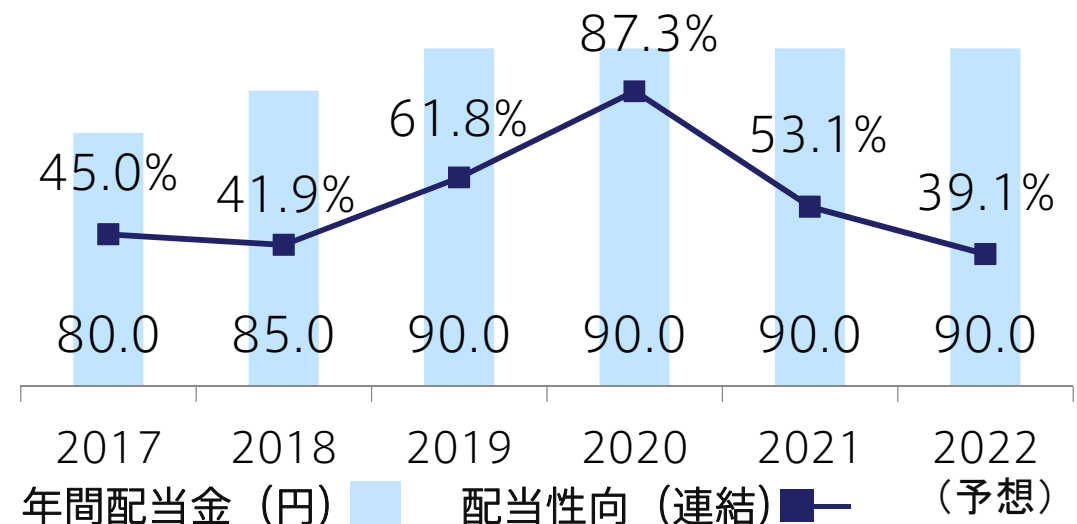
(ご参考) 株主還元 安定した配当政策

株主還元に関する基本方針 (要約)

- 長期的な視点ですべてのステークホルダーの満足度を向上し続けることで、持続的な成長を実現していくことを目指す
- 長期にわたり安定的な経営基盤の確保に努めつつ、安定的な配当を継続
- 当中期経営計画期間（2021年～2023年）においては現状の配当金額（年90円）を下限とするが、業績によっては見直しを検討
- 安定配当を基本としながら、キャッシュ・フローや内部留保の状況等を総合的に勘案しつつ、自己株式の取得を機動的に行うなど株主還元を努める
- 内部留保については、基盤事業や成長が見込まれる事業分野への設備投資と、将来の利益向上に寄与できる研究開発に充てる

年間配当額※ 推移/予想

2021年度	2022年度 (予想)
90円/株	90円/株



※グラフにおける年間配当額は2018年7月1日 株式併合実施換算後の数値

(ご参考) 連結貸借対照表等の概況

(単位：億円)

	2021年 12月末	2022年 6月末	増減率 (%)
流動資産	2,236	2,378	6.4
固定資産	1,833	1,868	1.9
資産計	4,069	4,247	4.4
流動負債	1,121	1,195	6.5
固定負債	678	661	▲2.5
負債合計	1,799	1,856	3.1
純資産計	2,269	2,391	5.4
負債純資産計	4,069	4,247	4.4

	2021年 12月末	2022年 6月末
有利子負債(億円)	810	844
自己資本比率(%)	53.7	54.1
D/Eレシオ	0.39	0.41

関係会社の数

	2021年 12月末	2022年 6月末
連結子会社	61	61
持分法適用会社	7	7

配当の状況

(単位：円/株)

	2021年度	2022年度
中間	45.0	45.0
期末	45.0	45.0(予想)

設備投資と減価償却費

(単位：億円)

	2022年度 通期計画	2022年度 上半期実績
設備投資	106	86
減価償却	107	52

※設備投資：実績は検収ベース、計画は発注ベースの金額

(ご参考) 連結損益計算書の概況

単位：億円

	2021年度 上半期	構成比 (%)	2022年度 上半期	構成比 (%)	増減率 (%)
売上高	1,394	100.0	1,548	100.0	11.1
売上総利益	299	21.5	279	18.0	▲6.8
販管費計	227	16.3	233	15.0	2.5
営業利益	72	5.2	46	3.0	▲36.2
営業外収益計	20	1.4	36	2.4	81.0
営業外費用計	6	0.4	15	1.0	163.2
経常利益	87	6.2	67	4.3	▲22.3
特別利益計	2	0.2	54	3.5	-
特別損失計	4	0.3	2	0.1	▲50.4
税金等調整前当期利益	85	6.1	120	7.7	41.0
法人税等計	20	1.5	35	2.3	73.7
当期純利益	65	4.6	84	5.5	30.8
親会社株主に帰属する当期純利益	63	4.5	84	5.4	33.1

(ご参考) 事業別セグメント実績

		2022年12月期 第2四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2022年12月期 第1四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
		売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
色材・ 機能材	日本	102	7	▲2.5	▲20.0	0.0	▲17.5	205	15	0.2	18.1
	海外	148	2	17.6	▲79.8	9.1	53.2	284	3	12.0	▲82.0
	合計	203	5	10.9	▲67.4	6.1	▲49.4	394	15	7.0	▲44.9
ポリマー・ 塗加工	日本	134	4	10.6	▲35.4	7.3	▲11.3	258	8	7.5	▲43.9
	海外	97	4	26.0	83.9	11.1	21.8	184	8	25.2	29.7
	合計	198	7	14.3	▲11.5	8.1	▲11.6	381	15	13.5	▲24.7
パッケージ	日本	109	2	5.3	▲13.0	5.4	▲26.1	213	5	6.0	▲12.9
	海外	105	▲0	26.7	-	19.1	-	193	▲0	21.4	-
	合計	211	2	15.0	▲67.0	11.8	▲36.5	400	5	12.9	▲63.0
印刷・ 情報	日本	91	▲3	0.9	-	3.9	-	179	▲4	▲0.4	-
	海外	108	5	27.9	2.4	12.6	21.9	204	10	24.0	7.0
	合計	188	2	14.4	▲61.6	7.7	▲36.6	363	6	11.3	▲31.5
その他		13	2	▲24.2	▲18.8	4.0	▲51.7	25	6	▲22.6	38.2
調整		▲8	▲0	-	-	-	-	▲16	▲0	-	-
連結		805	18	13.4	▲51.4	8.4	▲36.2	1,548	46	11.1	▲36.2

(注) 事業セグメントの日本・海外の実績には地域間消去を考慮していません。








2022年12月期 上半期 決算説明会

(ご参考) 地域別セグメント実績

当期実績	2022年12月期 第2四半期 (3ヶ月) 実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)		増減率 2022年12月期 第1四半期比較(%)		当期累計実績 (億円)		増減率 前年同期比較(%)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	449	12	4.1	▲41.7	4.3	▲35.4	880	30	3.9	▲18.8
アジア	328	9	18.0	▲31.7	9.5	12.7	628	17	15.0	▲43.2
ヨーロッパ	71	3	34.0	▲51.6	29.5	99.4	127	5	23.3	▲45.5
北米・中南米	57	▲1	44.4	-	13.7	-	108	▲1	43.7	-
調整	▲102	▲5	-	-	-	-	▲196	▲4	-	-
連結	805	18	13.4	▲51.4	8.4	▲36.2	1,548	46	11.1	▲36.2

(参考) 昨年度実績(億円)	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第4四半期		合計	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
日本	415	17	432	21	423	14	465	22	1,735	73
アジア	268	16	278	13	287	10	302	9	1,136	48
ヨーロッパ	49	2	53	6	50	1	58	4	211	13
北米・中南米	35	1	40	1	43	▲0	45	▲0	162	1
調整	▲85	▲1	▲93	▲3	▲87	1	▲99	▲2	▲364	▲5
連結	684	35	710	37	716	25	770	33	2,880	130

(ご参考) 主な製品・用途 (色材・機能材/ポリマー・塗加工)

	主な事業	主な製品	主な用途	
色材・機能材	メディア材料	表示材 (レジストインキ)、ペースト、高機能顔料	ディスプレイ、センサー	
	プラスチック着色剤	マスターバッチ、コンパウンド	容器、自動車、家電OA、建材	
	顔料	顔料、顔料分散体	印刷インキ、自動車塗料	
	インクジェット	インクジェットインキ	看板広告、ラベル、段ボール	
	機能性分散体	リチウムイオン電池用材料、機能性分散体	EV用リチウムイオン電池	
ポリマー・塗加工	パッケージ・工業材料	粘着剤、ラミネート接着剤、ホットメルト、製缶塗料、樹脂	ラベル、フィルム包材、太陽電池、PETボトルラベル、飲料缶、建材	
	エレクトロニクス	機能性フィルム、粘着剤、両面テープ、ハードコート	スマートフォン、ディスプレイ、タブレット	
	メディカル・ヘルスケア	メディカル製品、粘着剤、天然材料	貼付型医薬品、スポーツテープ、食品、飼料	

(ご参考) 主な製品・用途 (パッケージ/印刷・情報)

	主な事業	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ	フィルム包材 (食品パッケージ、日用品詰め替え) 建材
		フレキシソインキ	サニタリー、段ボール、紙袋
印刷・情報	オフセットインキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ
	機能性インキ	UVインキ	紙器、ラベル、書籍
		金属インキ	飲料缶、食缶
		スクリーンインキ	エレクトロニクス、ステッカー

